

CSRの取り組み

トクヤマは、2016年5月に制定したビジョンにおいて「化学を通じて暮らしに役立つ価値を創造する」ことをミッションとしており、このミッションを遂行することがCSR活動と捉えています。

また、ビジョンでは「量から質へ」を私たちの目指す姿として掲げ、その目標に向けて事業を展開しています。規模の拡大のみにとらわれず、「質」を伴った成長を目指すうえで欠かせないのがCSR経営です。トクヤマは2018年3月に「CSR経営の基本理念」を見直し、持続可能な未来を「社会」とともに築く活動を通して、社会課題の解決に貢献していくこととしました。

トクヤマのミッション(=CSR)である「暮らしに役立つ価値」の創造には、社会課題の解決につながる製品の創出と、事業プロセスにおいて社会責任を果たすことの2つの側面があります。前者については研究開発を通じて、後者については内部統制をCSRの基盤と位置づけ、リスクマネジメントとコンプライアンスを両輪としています。また、化学メーカーとして、レスポンシブル・ケアはCSRの大きな領域を占めっていると認識し、全社的な推進体制を整備し、保安・環境・品質のマネジメントシステムを着実に運用するとともに、システムの継続的な改善に努めています。

環境とのかかわり

地球環境保全への積極的な取り組みは、企業が果たすべき重要な社会的責任です。トクヤマは、事業活動におけるすべての過程で、環境という視点を重視する「環境経営」を実践しています。

2018年度の実績

事業活動におけるINPUT・OUTPUTを正確に把握し、新たな目標設定のもと環境負荷の低減に努めています。2018年度は、エネルギー消費原単位率、廃棄物有効利用率、ゼロエミッション率で目標を達成しました。

他のパフォーマンスデータの目標値については、現状の低負荷状態を維持するため、部署ごとに管理目標値を定めて、活動し、環境への低負荷状態を維持・推進しております。

事業活動にともなうマテリアルフロー (単位:千トン)



※数値はすべて2018年度(株)トクヤマ単体

社会とのかかわり

トクヤマは持続可能な未来を「社会」とともに築くため、多様なステークホルダーとのコミュニケーション活動を大切にしています。

社会貢献活動

トクヤマは社会から必要される企業として、地域コミュニティと共生を図るためさまざま活動を行っています。会社はもちろん、従業員も自ら進んで地域の皆さんと交流を深めています。

<民間学童保育「アクスキッズ」で子どもの成長を支援>

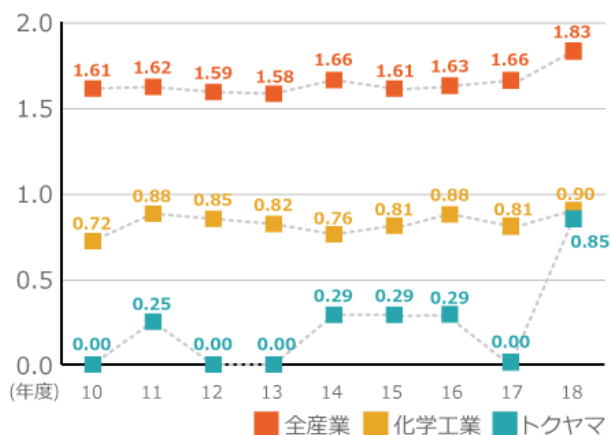
徳山製造所の工場廃熱を利用してスイミング・フィットネスクラブを運営する株式会社周南スイミングクラブは、民間の学童保育「アクスキッズ」で、小学校1年生から3年生までの児童の遊びと学びをサポートしています。平日19時まで、スイミングやテニス、ダンス、基礎的な運動能力を身につけるわんぱく教室をはじめ、宿題・学習サポート、ペン習字、英会話など多様なプログラムを受けることができます。「よく学び、よく遊び、大きく成長する」学童保育として、次世代を担う子どもたちの可能性を広げるお手伝いをしています。



保安防災・労働安全衛生

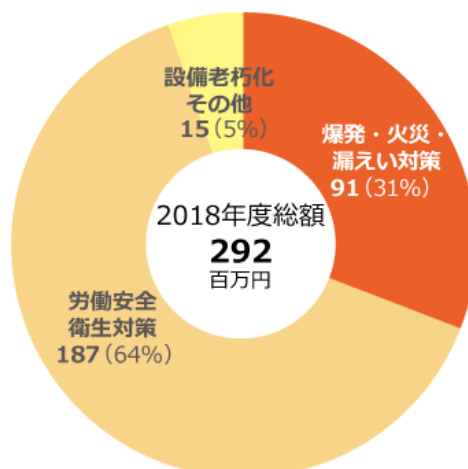
「保安は事業活動の基本であり、保安の確保は社会との共生の第一歩である」という姿勢のもと、徹底した保安防災活動と労働安全衛生活動を実施し、無事故・無災害を目指すとともに良好な職場環境の確保に努めています。

休業度数率^{*1}の推移



*1 休業度数率：100万の労働時間あたりの労働災害による休業者数で表示し、労働災害発生頻度を表す。

安全防災・労働安全衛生対策投資



※四捨五入の関係により内訳の数値の合計は総額と一致しません。

その他CSR情報につきましては、当社CSR報告書又はウェブサイトをご参照ください。
<https://www.tokuyama.co.jp/csr/index.html>